

東京湾海況情報 29-2

東京湾水質調査結果（平成29年5月）

（平成29年5月30日発行）

千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 〒 293-0042 富津市小久保3091
 TEL 0439-65-3071
 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp
 千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査5/9：内湾（ふさなみ）、内房海域（ふさみ丸）
 関東・東海海況速報（5/9）、東京湾口海況図（5/9）
 モニタリングポスト5/9：国土交通省関東地方整備局、海上保安庁

【 水温・塩分の状況 】

内湾の表層水温は17～20℃台で平年より0.7℃低め～0.9℃高めでした（図1）。塩分は27～32台で平年より0.2低め～1.2高めでした。
 内房海域の表層水温は16～18℃台で平年より1.5℃低め～0.7℃高めでした。塩分は32～34台で平年より0.3～0.8高めでした。
 塩分33.5以上の水塊が内湾中央部の水深18mまでみられました（図2, 3）。
 ※平年との比較は主な調査点（表1）で行いました。

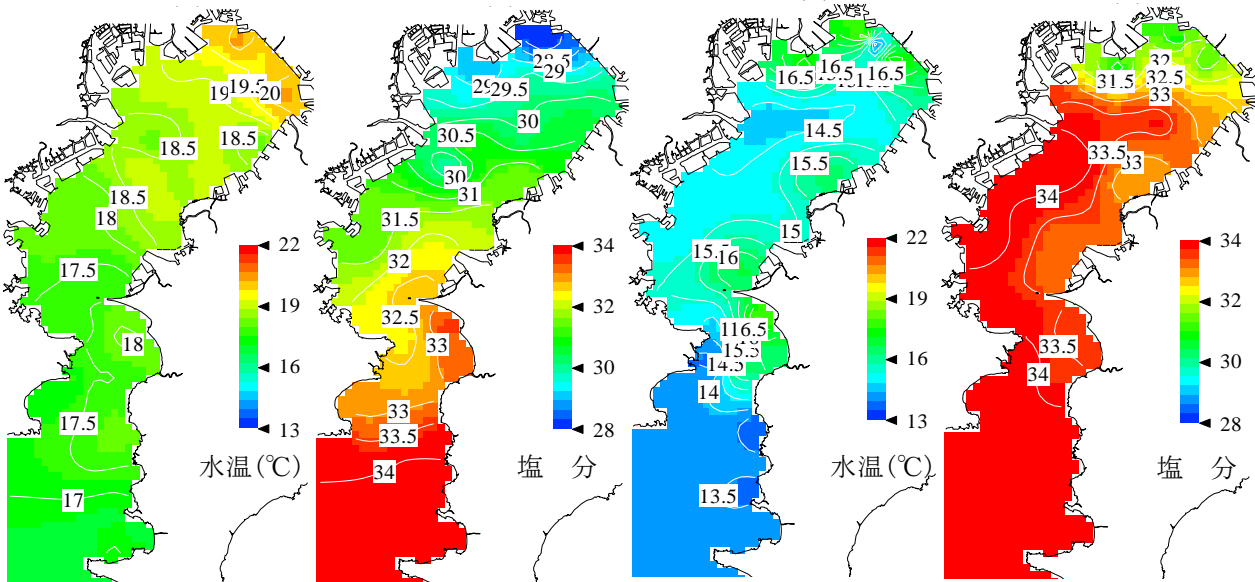


図1 水温・塩分分布（表層）

図2 水温・塩分分布（底層）

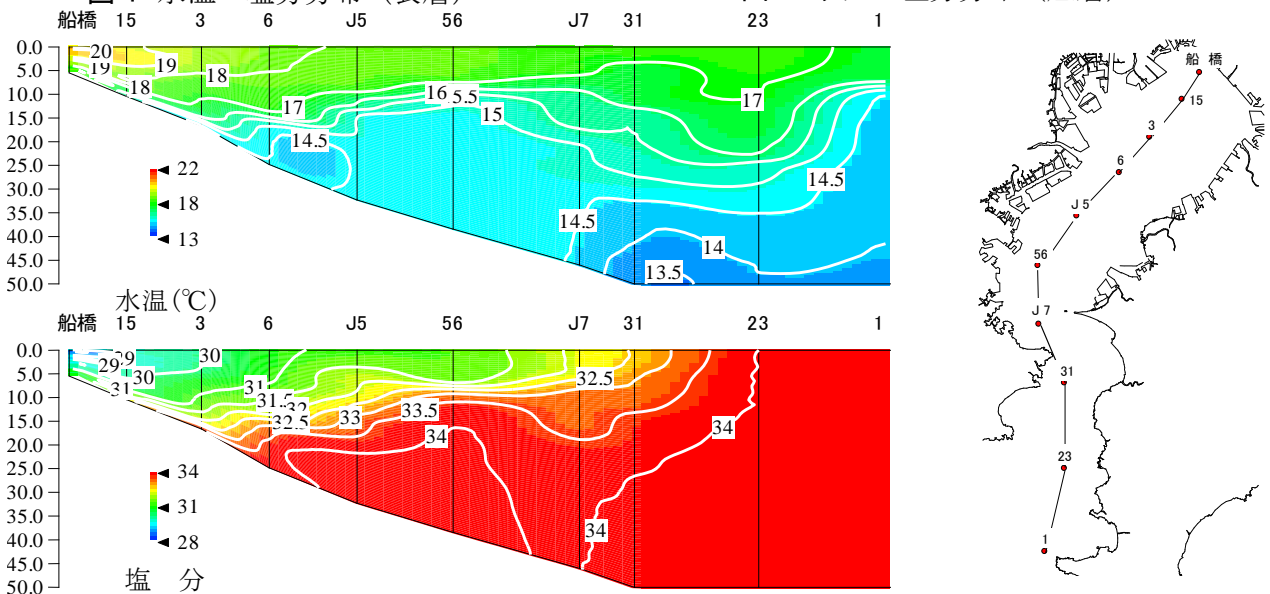


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布(上：水温、下：塩分、右：調査ライン)

【 赤潮の状況 】

船橋～千葉沖は酸素飽和度150%以上、透明度1.5 m以下、pH8.5以上で赤潮状態でした (図4)。

優占種は渦鞭毛藻プロロセントルムと珪藻レプトキリンドルスでした。いずれも魚貝類に有害な種類ではありません。

※ 千葉県赤潮の目安は次のとおりです。
色 : オリーブ～褐色
酸素飽和度 : 150%以上
透明度 : 1.5m以下
pH : 8.5以上
クロロフィルa : 50 μg/L以上

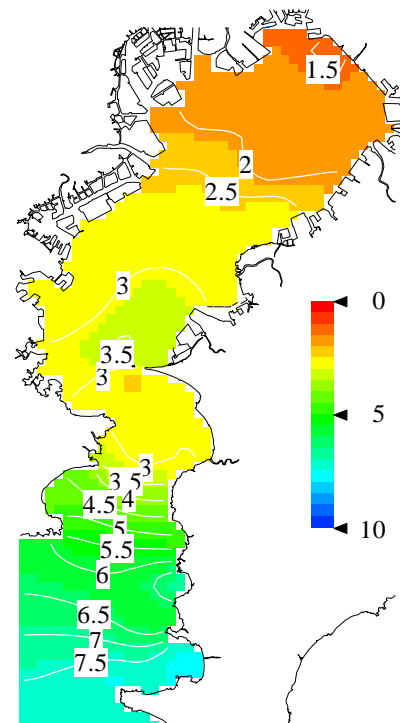


図4 透明度の分布 (m)

【 貧酸素水塊の状況 】

貧酸素水塊は、内湾北部の水深8 m以下にみられました (図5, 6)。

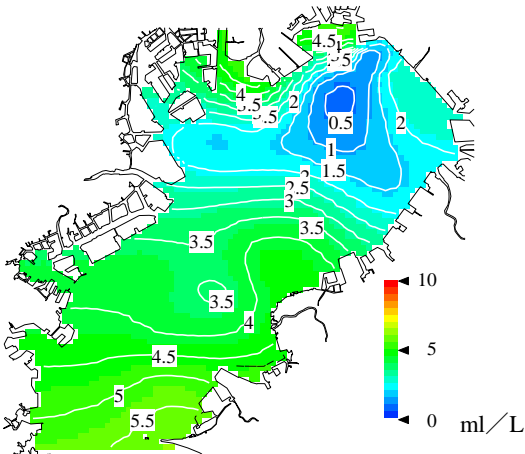


図5 底層部の溶存酸素量の分布 (内湾)

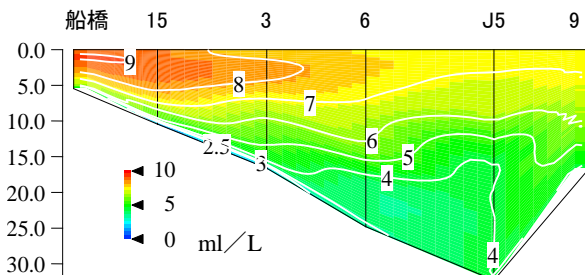


図6 縦断面の溶存酸素量の分布 (内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L (酸素飽和度50%) 以下を貧酸素水塊としています。

【 栄養塩の状況 】

湾内表層の窒素 (DIN) は平年の4～51%と少なめでした (図7)。

湾内表層のリン (DIP) は湾口の一部を除き平年の18～61%と少なめでした。

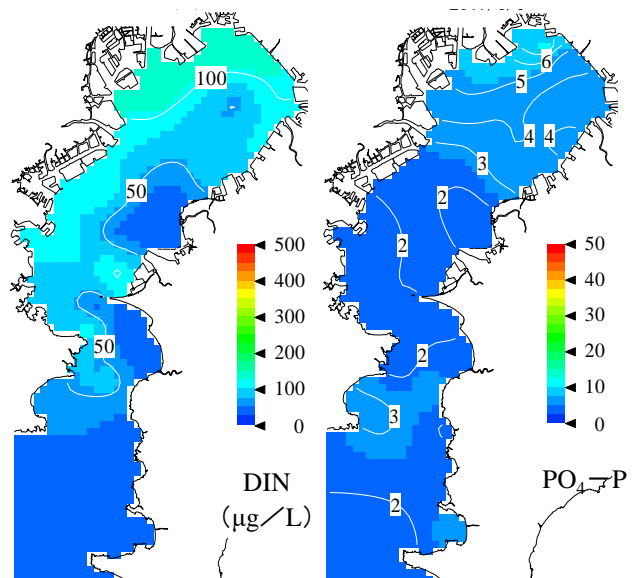


図7 栄養塩濃度の分布 (表層)

【黒潮の状況】

C型からD型へ変わりつつあります。伊豆半島の南の海域に見られた暖水塊は次第に縮小していますが、これから波及した暖水が伊豆大島付近に及んでいます(図8)。

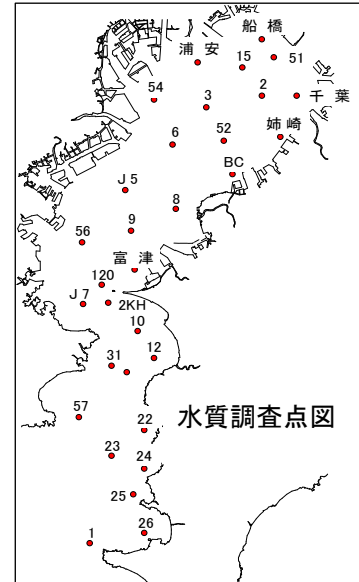
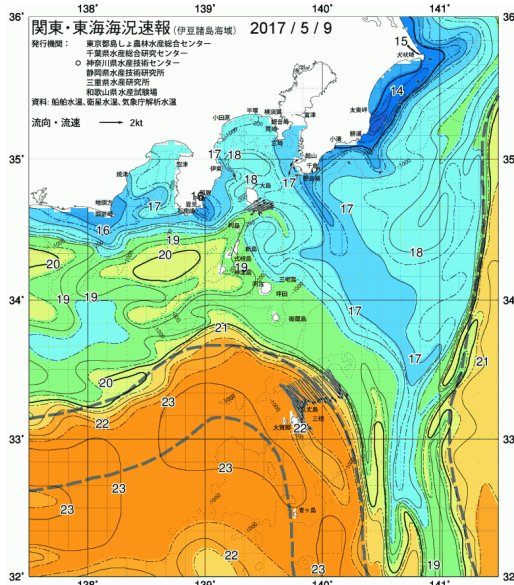


図8 黒潮の動き (平成29年5月9日)

表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)
(): 最近10年間の平均値 (2007~2016年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (µg/L)	溶存無機態窒素 (µg/L)	リン酸態リン (µg/L)	クロロフィルa (µg/L)
内湾	船橋	20.3 (19.4)	27.9 (28.1)	1.5 (1.8)	8.9 (8.5)	4.4 (5.1)	22.8 (47.9)	112.8 (374.3)	8.0 (17.2)
	st.15	19.1 (19.1)	29.5 (28.4)	1.7 (2.1)	8.7 (8.5)	0.8 (4.0)	15.1 (54.8)	102.9 (357.6)	5.3 (16.3)
	st.3	18.7 (18.4)	29.9 (28.9)	2.0 (2.5)	8.7 (8.5)	1.5 (2.9)	6.4 (56.6)	82.9 (353.6)	4.1 (10.7)
	st.6	18.1 (18.2)	30.8 (29.6)	2.6 (2.8)	8.6 (8.5)	2.9 (3.1)	5.6 (60.3)	71.3 (321.5)	2.9 (10.6)
	st.9	18.1 (17.7)	32.0 (31.6)	3.2 (3.7)	8.5 (8.4)	3.8 (4.2)	2.8 (34.6)	24.9 (208.7)	2.4 (6.8)
	st.BC (盤洲Cブイ)	18.8 (19.5)	31.5 (30.7)	3.0 (3.0)	8.5 (8.4)	3.9 (4.6)	20.9 (39.1)	76.7 (248.1)	3.2 (9.5)
	st.8 (盤洲A南)	18.8 (18.5)	31.6 (31.4)	2.8 (3.5)	8.5 (8.4)	3.5 (3.7)	0.0 (36.2)	8.8 (212.6)	1.3 (7.2)
	富津	17.4 (17.6)	32.5 (31.8)	3.4 (4.2)	8.4 (8.3)	5.3 (4.8)	36.1 (45.6)	103.8 (202.6)	2.5 (5.3)
内房海域	st.2KH (第2海ほ下)	17.5 (17.5)	32.7 (31.9)	2.5 (4.1)		0.0 (49.2)	24.8 (197.5)	1.4 (7.1)	
	st.31	17.5 (17.2)	32.5 (32.3)	3.0 (5.3)		0.0 (34.9)	52.3 (195.1)	1.5 (6.1)	
	st.23	17.7 (18.0)	34.0 (33.4)	6.0 (8.7)		3.8 (24.2)	5.0 (76.0)	2.6 (4.2)	
	st.1	16.7 (18.1)	34.2 (33.9)	8.0 (11.4)		0.0 (12.4)	10.7 (59.7)	1.3 (3.5)	
	st.10 (下洲沖)	18.1 (17.4)	32.9 (32.3)	欠測 (4.9)		0.0 (34.0)	8.9 (186.5)	1.9 (6.3)	
	st.12 (湊沖)	17.7 (17.7)	33.2 (32.4)	3.0 (5.1)		0.0 (31.4)	15.5 (167.2)	2.2 (5.2)	
	st.22 (保田沖)	17.8 (18.2)	33.8 (33.5)	5.0 (9.0)		0.0 (22.3)	2.5 (66.5)	1.9 (3.2)	
	st.24 (富山沖)	17.4 (18.3)	34.1 (33.8)	7.0 (9.3)		0.0 (15.0)	6.6 (48.3)	2.1 (1.7)	
st.26 (館山湾内)	16.8 (18.2)	34.1 (33.6)	8.0 (9.4)		0.0 (10.4)	7.7 (44.3)	2.9 (2.5)		

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。